

図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラカバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

休館日■黒い枠

8月 図書館カレンダー							7月15日現在
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11 <small>祝日開館</small>	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

行事などの最新情報はこちらをチェック!

小樽図書館

検索



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

◇開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで

土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで

◇休館日

8月 曜日 4日・18日・25日

館内整理休館日 29日(金)

※祝日(8/11山の日)は開館いたします)

9月 曜日 1日・8日・22日・29日

館内整理休館日 26日(金)

※祝日(9/15敬老の日、23秋分の日)は開館いたします)

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 <small>祝日開館</small>	16	17	18	19	20
21	22	23 <small>祝日開館</small>	24	25	26	27
28	29	30				

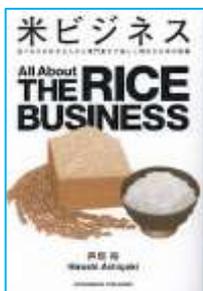
予約ベスト5

() の人数はR7. 7. 11現在の予約人数です。

◎架	空	犯	(東野 圭吾)	(71人)				
◎カ	フ	ネ	(阿部 暁子)	(68人)				
◎月		収	(原田 ひ香)	(39人)				
◎よ	む	よ	む	か	た	る	(朝倉 かすみ)	(36人)
◎C	線	上	の	ア	リ	ア	(湊 かなえ)	(36人)

今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



611.3「米ビジネス」 芦垣 裕 著
もうかれこれ1年近く続いている「令和の米騒動」。遡れば、平成5(1993)年の「平成の米騒動」や戦時中の配給制度、そして、「米騒動」の代名詞といえる大正7(1918)年の民衆運動など、時として起こる米不足や流通の停滞は、人々を不安に陥れ、政府をも動かし、その確保のために東奔西走するほど、まさに米は日本人の生命線。そんな切っても切れない存在である米を、ビジネスの観点から米屋の三代目がわかりやすく解説、このご時世に知っておきたい業界のしくみが満載の教養本です。(K・H)

「きってはって・・・」の巻



ハート職人、今夜も夜なべ？

亡くなった家族との出来事を思い出す季節。入院先で父はいつも『家は大丈夫か』と言っていた。何がそんなに心配なのかと、その時は思いつつ「大丈夫だよ」と考えもせず答えていた。しかし今は同じ思いた。夜中、強い雨音で目が覚めると、窓は締まっているだろうか？どこか雨漏りしていないだろうか？そして結局、起き上がっていくつかの要注意な場所(ほぼ全域!)をチェックしなければ落ち着かない。老朽化した家では安らかな眠りは得られない。なんの心配もいらぬ新築物件に住みたいところだ。最近、「老朽化した実家を相続した」という動画を見ていると同感の嵐だ。自分でリフォームし、ビフォー&アフターでかなり良くなった箇所を紹介している動画もある。羨ましい限りだ。ちょっとで済む簡単な修理も先送りしている我が家。しかしそんな先送り人間が真っ先に行動したことがある。それは我が家の相続登記だ。昨年度から義務化されたがずっと前に登記している。法務局で聞いた一言が背中を押したのだ。その一言とは「次年度から手数料がちょっとあがりますよ」だ。あれは平成のいつだったか？まだ義務化の話が出ていない頃だ。周りからは「焦ることないよ、そのままいんだからさあ」と言われていたが、すぐに手順を聞き戸籍を集めた。転勤族の我が家は複数の市に戸籍を申請することになってしまった。戸籍申請の手数料はかなりかかった。送料は切手が使えぬ。ここでずっと眠っていた記念切手が活躍。金額合わせはパズルレベルで、ピッタリの組み合わせが見つかったときには「やったー！」と叫んでいた。そして法務局で指南されながらどうにか登記の申請は無事完了となったのである。

小説類



「紅色の幻」 あさの あつこ 著
夫・新吉が言付けを頼んだ職人らしき人物が、長屋近くで殺された。その懐には、きれいなビードロの風鈴がしのぼせてあり…。青春時代ミステリー、「おいち不思議がたり」シリーズ第7弾。



「対決の記者」 本城 雅人 著
新聞記者・関口豪太郎は、一人の青年の訃報に耳を疑った。昼間知り合った好青年が、深夜に溺死体となって発見されたというのだ。しかも青年は偽名を使っていた。豪太郎は取材に乗り出し…。

「こうふくろう」 薬丸 岳 著
大学生の芹沢涼風は、池袋の公園で、同じように孤独に苛まれ行き場をなくした者たちに出会う。血がつながっていなくても強い絆で結ばれた「本物の家族」を作りたいと思い、親しくなるが…。

「関係のないこと」 上田 岳弘 著
先輩弁護士の教えを守りキャリアを積んできた僕を、見えない壁が取り囲む。その事実を見ないフリをしたまま、僕はどこまで行けるだろう。世界に絶望せず軟着陸するための短篇集。

随筆



「サイレントシンガー」 小川 洋子 著
沈黙を愛し、10本の指を駆使した指言葉でつつましく会話をする人々の暮らす「アカシアの野辺」で育ったりり力。やがてりり力は歌うことを覚え、その歌声の力が、さまざまな人と引き合わせ…。

「星になっても」 岩内 章太郎 著
「どうしてじいじは死んじゃったの？」息子の問いに、私はうまくこたえることができなかった。哲学者の著者が、父の死をきっかけに書き綴った、喪失と回復の道のりを優しくたどるエッセイ。

「ネバーランドの向こう側」 佐原 ひかり 著
実家で生活していたが、両親が亡くなり叔母と同居することになった30歳の実日子。世間知らずな実日子と合理主義の叔母は全く波長が合わず、人生初めての一人暮らしを決意し…。



「トットあした」 黒柳 徹子 著
向田邦子、渥美清、沢村貞子、永六輔、久米宏、飯沢匡、トモエ学園の小林校長、そして父…。黒柳徹子が大切に受け取り、励まされてきた、かけがえのない言葉たちで、新たに半生を辿り直した自叙伝。

「烈風を斬れ」 砂原 浩太郎 著
関白・豊臣秀次の遺児・孫七郎は、「大坂の陣」前夜、大坂方の密使として、全国に散らばる牢人たちを仲間に引き入れる役目を受け…。戦国の烈風にさらされながらも、前を向き歩く若者たちの物語。

その他

書名の前の数字は分類番号です。

「往来絵巻」 高瀬 乃一 著
2年に一度の天下祭り・神田明神祭で、絵巻に描かれるはずの男が消えた？まさかの有名絵師を巻き込んだ殺人事件が発生するが、貸本屋おせんの推理がさえわたり…。

933.7「ジェームズ」
パーシヴァル・エヴェレット 著
逃亡する黒人奴隷ジェームズを待ち受ける、地獄の旅路とは。マーク・トウェインの「ハックルベリー・フィンの冒険」で脇役だったジェームズを主人公に、彼の目から見た出来事や、その複雑な内面を描く。

「ウインクに警告」南原 詠 著
モノベ社は業界2位のゲーム機メーカー。大ヒットした携帯ゲーム機に特許侵害の疑惑が持ち上がり、知的財産部員・平間青介が社内の極秘調査に乗り出す…。



943.7「本と歩く人」
カルステン・ヘン 著
老書店員カール・コルホフの前に現れた少女シャシャ。歩いて本を配達するふたりの珍道中と、曲者揃いの客たちとの交流。そんななか、カールは長年勤めた店から解雇されてしまう…。

新着一般書



書名の前の数字は分類番号です。

159 「となりの億万長者が17時になったらやっていること」 嶋村 吉洋 著
会社員が社会資本(コミュニティ)、人的資本(人脈)、金融資本(金)の3つを同時に増やす「仲間づくり」の戦略書。「即レスを徹底」「嘘をつかない」など、“幸せな”億万長者が大切にしている45の教えを具体的に伝える。

335. 2 「なぜハーバードは虎屋に学ぶのか」 佐藤 智恵 著
虎屋、ドン・キホーテ、無印良品…。ハーバードMBA教室では、なぜ日本企業の今を学ぶのか。教員・学生の日本研修からわかる日本の魅力を伝える。『ダイヤモンド・オンライン』『日刊工業新聞』掲載記事を加筆、再構成。

369. 7 「権利としてのボランティア」 渡部 聡子 著
善意や自己責任に頼らない社会貢献は可能か？誰もが1年間、国の支援によってボランティアに参加できる国、ドイツ。その経験をたどり、市民社会のあるべきかたちを問う。

489. 9 「老いの思考法」 山極 寿一 著
動物は、基本的に繁殖能力がなくなったら死ぬので、長い老年期がない。人生後半戦をどう生きるかというのは、人間だけがもつ問いである。人生の老年期をどう捉え直したらいいのか、老いをめぐる新しい思考法を提示する。

498. 0 「こちら、空港医療センター」 シン・ホチョル 著
旅先でケガをした人、欠航で手持ちの薬の切れた慢性疾患持ちの人、意思の疎通が難しい外国人…。空港の病院は予想外のことだらけ！仁川国際空港の医療センター長が綴る、驚きと苦労のエッセイ。



518. 5 「ごみと暮らしの社会学」

梅川 由紀 著

人々の日常生活に密接した「生活文化としてのごみ」に着目。ごみとモノの境界がどこにあるのか、時代によってその境界がどう揺れ動いてきたのか等を、多くの雑誌や資料の分析、ごみ屋敷でのフィールドワークから明らかにする。

596. 3 「KAGOMEの管理栄養士さんに聞く野菜の賢い食べ方」 カゴメ株式会社 監
KAGOMEの管理栄養士チームが、野菜のトリセツ、栄養の豆知識、レシピなど、毎日おいしく野菜を食べるコツを紹介する。KAGOMEが運営する野菜の情報サイト『VEGEDAY』の記事も収録。



726. 6 「アンパンマンと日本人」

柳瀬 博一 著

おなかが空いた人に自分の顔を食べさせる不思議なキャラクター、アンパンマンはどのように誕生し、国民的ヒーローになったのか。生みの親である漫画家やなせたかしの生涯をたどりながら、その秘密を解き明かす。

801. 0 「誤解を招いたとしたら申し訳ない」

藤川 直也 著

「そんなつもりはなかった」という言い逃れ、「誤解を招いたとしたら申し訳ない」という謝罪もどき…。こうした発言の何が問題なのか。政治から日常の場面まで、気鋭の言語哲学者がコミュニケーションのリアルを明かす。



911. 5 「今日は昨日のつづき」

谷川 俊太郎 著

今日は昨日のつづきだけでいいと思う。何かをする気はない(一部抜粋)。『朝日新聞』の連載をまとめた、さいごに遺した「感謝」を含む47篇。



児童資料

「ベランダでわたをつくったよ」

あおき あさみ 著
モモは、おとなりのおばあちゃんにもらった綿花のタネを植木鉢にまいて、弟のタイガといっしょに育てます。綿花は糸になるんだって…。物語を通して「育てる」や「作る」を楽しめる絵本。

「バーベキュー・ドリンクバーをつくろう」

いしかわ まりこ 著
まるで本物みたいな工作をつくってあそぼう！バーベキューセットドリンクバーのつくり方を写真やイラストで解説する。早くできるかんたん工作なども掲載。きのこ等の型紙つき。

「思いがけず、朝子ちゃん」 高村 有 著
父親のいない莉子(小学6年生)、廃業した実家の旅館が廃墟にならないようメンテナンスを続ける晴臣(中学2年生)…。祖母の花屋を手伝う25歳の朝子と小・中学生5人との思いがけない出会いが織りなす、5つの物語を収録。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①8月9日 ②8月16日
③9月6日 ④9月20日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー
②④図書館2階 視聴覚室

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」
「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作を行います。協力：たるBOOKの皆さん
②「たるばと夏祭り！！」
おまつりがテーマのおはなし会と工作、簡単なゲームをします。
④「いつかの、モシモのための防災」
防災がテーマのおはなし会と簡単な工作を行います。



「乳幼児向けおはなし会 たるびよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

8月1日、8日、15日、22日
9月5日、12日、19日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

「ぐうちよきぱあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきぱあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 8月20日(水)、9月10日(水)
午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

郷土資料



書名の前の数字は分類番号です。

H159. 7 「図書館のゆるゆる人生質問箱」

北海道斜里町立図書館 著
北海道の東側にある小さな町の図書館に設置された、中高生と図書館職員がやり取りする匿名掲示板。そこに寄せられた中高生の、友達や学校、恋、将来についての悩みや質問に、図書館職員が真剣に、ゆるっと答えます。

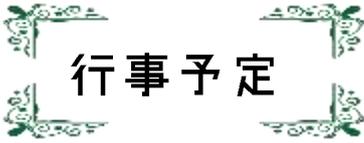
H376. 2 「北海道移住民と学校」

坂本 紀子 著
開拓政策により移住民が急増した北海道では、彼らに対し府県とは異なる教育政策が展開された。近代北海道の教育史を、移住民たちが営んだ生活の視点から捉えなおす。

H211. 5 「2都物語札幌・東京」

鷺田 小彌太 著
札幌郊外都市の歴史とその可能性を論じるほか、ドラマ「団地のふたり」や「ドキュメント72時間」などの作品と東京郊外に生起する問題や歴史をむすびつけて考察する。





行事予定

8月 9月



催し

おたる図書館シネマ座 (映画鑑賞)

「こんにちはアン」

8月3日(日) 午後1時半～3時
図書館2階 視聴覚室

2009年日本制作。谷田部 勝義監督。2009年、半年間に渡って放映された名作の編集版。カナダの田舎町に暮らす6歳の赤毛の少女アン・シャーリー。生まれて間もなく両親を亡くして孤児になったアンは、トーマス家に引き取られ、貧しい一家の手伝いをする。(長編アニメーション)

「欲望という名の電車」

9月7日(日) 午後1時半～3時半
図書館2階 視聴覚室

1951年アメリカ制作。エリア・カザン監督。ヴィヴィアン・リー出演。アル中で元教師のブランチがニューオーリンズの妹夫婦の家を訪ねてくる。上品そうに振る舞い容色ばかり気にする彼女に義弟スタンリーは我慢できない。彼女の汚れた過去を知った彼は、ブランチと恋仲のミッチにそれを教える。(白黒・字幕)

「平和映画上映会」(映画鑑賞)

8月17日(日)

平和に関する映画を上映します。

第1部 午前10時半～

「小樽市平和派遣団報告会」

広島に派遣された中学生による報告会。

「ヒロシマの記憶」(35分)

原爆映像に復興後の広島の映像とインタビューを交えたドキュメンタリー。

第2部 午後1時半～

「平和の語り部」

戦争体験の記憶や平和の大切さなどの語り。

「for you 人のために」(75分)

被爆地広島を舞台に、人のために尽くした人々を追ったドキュメンタリー映画。

【対象】どなたでも

【申込み】不要

【場所】図書館2階 視聴覚室

【主催】小樽市



展示

「山の日」(資料展示)

【日時】8月5日(火)～8月12日(火)

【内容】8月11日(祝・月)の山の日になんで、山岳小説や山岳の自然・文化、登山に関する図書を展示・貸出し

【場所】図書館1階 カウンター前



「図書館アニメパーティー」(資料展示)

【日時】8月24日(日)～9月12日(金)

【内容】小樽アニメパーティーに合わせて、アニメや漫画、押し活に役立つ図書を展示・貸出し

【場所】図書館1階 カウンター前
2階 ギャラリー



「戦後80年」(資料展示)

【日時】8月14日(木)～8月28日(木)

【内容】戦後80年の節目の年。軍事史、政治史、防衛関連、戦時下に出版された文学作品などを展示・貸出し

【場所】図書館1階 エントランス

「こっち見て！秋の交通安全」(資料展示)

【日時】9月21日(日)～9月30日(火)

【内容】秋の交通安全運動にあわせて、幅広い年齢層の方が、交通についてわかりやすく学べる図書を展示・貸出し

【場所】図書館1階 カウンター前

【協力】小樽市生活環境部
生活安全課

